

女子教育と愛嬌

●女子教育と愛嬌

愛嬌といふことが心理學上からいへば快活なる發表を以て人に愉快を與へる一種の徳であつて半は各個人の稟賦に由ることである。それゆえ何人にも同様に愛嬌を得しめるといふ事は出来ぬのであらうが併し教育の仕方によつては確かに或る點までは天真爛漫の美はしい發表をなすことが出来るやうになるのである。試みに今日の女學生を見よ十七八の娘盛りにして昔なら一家に客があつても母親を助けて切つてまはすほどの働きをなし狭い家庭の社交に於て女王の位置を占むべきものが、やれ男女交際のやれ女禮式のやれ常識の修養のとやかましくいふ今日に於て多くは木偶の如くに他の人に接し知己朋友の間に於ても何等の愛嬌なく人をして却て不愉快の感を發せしめるものさえあるのはまさに女子の特色を没却したる教育法ではないか。

來ても之を勞はることを知らぬ。杖を出すことも墮物をそるへることも知らぬお突かつたでせうとかお暑でせうとか乃至はお危險うございますとさへ言ひ得ぬ。是れ彼等が憎んくらにして全く氣のつかざるではなく假令心には思つても適當に臨表することをなし得ぬのである。婦人の笑顔は一家は勿論一の社交團體に平和と歡樂を持ち來すべき大切なるものであるのに此の有力なる武器を活用し得ぬやうな教育をなして何にかなる事か。吾等は今日の女子に望むにはのんびりした心持ちと極めて常識に富んだ知識とよく發育したる身体とを養ふことである。愛嬌も強いて作れば實笑の嬌の如くはなる。そしてさへ男子は所謂淑女よりも之を喜ぶ傾があるではないか。かういへば女子の肩を持つものは直ちにそれは男子の理想が卑いからでもあるといふであらうかたといひくら理想の高い人でも笑つて損をしたといふやうな婦人を喜ぶものではない。要するに愛嬌といふことは一種の美德であるから男女ともに必要であるが女子は從來の分業的發展の上から特に一層の必要と感ずるのである。終に臨んで

一言しておくが眞の愛嬌は決して人の威嚴と兩立せぬものではない。快活な言行をなして人に愉快を與へたからというて決して其の人に對する尊敬心が減却せられるものではない。昔から淑女とか淑女とかいふものが夫に嫁はれ不幸に終はるのは形式一偏悲愴一偏で少しも夫をチャームする愛嬌がないからである。今日の高等女學校以上の教育者は下らぬ取締りなどに心を腐らすよりも愛嬌養成法でも研究したらよからう。(兒童研究)

●子供を罵るまじきこと

凡そ人を罵ることの悪いことは誰も知つて居ることでありますが我子でも決して罵るべきものではありません。人は幾ら子供でも、小くても皆人格を有つて居ります。それに筋を言うて聞かされたら解るものだから、子供が悪いことをしても、一概に罵るのは甚だよろしくありません。子供でも魂がありますから、假令親からでも罵られては、よい心持は致しませんので、却て反抗する氣味がかりますから、懲らす目的を達することが出来ませんので、勿論子供が悪いことをしますれば、そのわざとしたのと過ちと

に拘はらず、相當に叱らなくてはなりません。過らなり、悪いことなりは、唯説き諭すばかりでなく、叱つて懲らすことが必要でありますが、罵ることはいけません。若し少しも叱りませんで、何時も説き諭すのみでは、子供を戒める力が足りませんで、善惡の觀念が判然とならせない恐れがありますから、惡るかつたら十分に叱らなくてはなりません、罵ることだけは無用です。子供が何をして居つても、若し親から、それはいけませんと言はれますと、必やめます十五六以上の男の子でも、父親から、いけませんと鋭く強く一聲言はれたらば、屹度止めます。若しそれでも止めぬならば、それは平生からして、親の威が足りぬので、此の場合を罵つたとて、一向無益です。既に制止の聲を用えれば足りるものを、初から、馬鹿だの、間拔だの、此の野郎だのと罵るのは、却て親の威を軽くするので、子をして不従順ならしめる本であります。小さい子供でも、矢強理性と感情を有つて居りますから、假令親からでも罵られると、不快を感じまして、心中悦服しませんし、それか甚しくなれば親を有難く思

はぬやうになります。かつ又子供自身の自尊心を減じましたり、品格を傷けましたり、首幣あつて一利ないと思ひます。子供が如何にも横着に悪い事などしますと腹の立つのは、自然ですから致し方ありませんが、罵ることだけは是非お差換へあつて然るべしと思ひます。いや、是れは人様に向つて申すではございませぬ、私自身大に慎むべきことと思ふのでございます。(兒童研究)

●保姆養成所生徒募集

東京一つ橋なる同所にては第五回の養成講義を來る六月中旬より開始するよして目下生徒募集中なり、小學者資格は高等小學校卒業以上にて卒業は六ヶ月定なりと云ふ。

新刊紹介

●造花獨けいこ

本書は近時流行の造花術を最も平易に説明したもので、數百の挿畫は充分に此書の目的を達することが出来るだらうと思ふ。地方に居つて師を得るに困難な人には此上ないものであ

る尙器用な人ならば是れ以上幾らでも熟達することできるであらう。(發行所牛込區納戸町六番地 明治家庭社 定價五十錢)

●子供芝居

お伽芝居川上首次郎に

因つて皮を切られてから兒童を慰樂するの目的で此種の演劇が所々に行はれる、様になつた結果は遂に兒童をして之を演ぜじめ様とするに至つた。本書は此要求に應じて數種の面白き脚本を供給したのである。脚本中にはあまり賛成しがたいものであるが大體に於て頗る時好に適したものと云ふことが出来る。(發行所神田表神保町二番地 彩雲閣 定價貳拾錢)

編輯記事

本號に收めたお伽話の魚の話の申耳の所は少し事實に相違して居りますから之を實際に用ゐる方は心して少し御訂正あらんことを望みます。